

おたがいさま

ODAGAISAMA

123号
令和8年
4月1日発行



会のメンバーで
配達の準備



小学校の福祉学習のサポート
(公共施設の障がい者用駐車場の塗装)



個人宅への弁当の配達

ほほえみ広がる やさしさの輪

朝日地域を支えるボランティア団体

ほほえみ桜の会

朝日地域の課題解決と、住みよい地域づくり・生きがいづくりを目指して、平成16年5月に発足したボランティア団体です。現在は男性10名で活動しています。

発足当初は、通院が困難だという高齢者の声を受け、福祉有償運送サービスの運転ボランティアとして活動してきました。その後、運転ボランティアに関する法律の改正や地域の高齢化により、見守りの必要性が高まったことから、令和3年度に見守りを兼ねた弁当配達ボランティアへと活動を切り替えました。

現在は、毎週木曜日に約20名分のお弁当を配達しているほか、小学校での福祉学習支援など、地域の支え合い活動にも取り組んでいます。ほほえみ桜の会の活動に関心のある方は、お気軽にお問い合わせください。

<問合せ先>

朝日福祉センター 電話 0235-53-2795

「ほほえみ桜の会」代表の渡部芳勝さんにお話を伺いました。

— 活動に参加したきっかけを教えてください。

私は平成22年に、立ち上げメンバーの方から声をかけていただいたことがきっかけで参加しました。社会貢献や地域への恩返しをしたいという思いがあり、現在まで活動を続けています。令和3年までは運転ボランティアとして、その後は朝日地域の飲食店と協力した配食事業の配達ボランティアとして活動しています。

— 「やっていてよかった」と感じるのはどんな時ですか？

一人暮らしの高齢者にお弁当を届け、ちょっとした会話を交わす中で笑顔になっていただけることが何よりうれしいです。「いつもありがとう」「楽しみにしているよ」という言葉が大きな励みになっています。猛吹雪の日に、わざわざ外で待ってくださった方の姿は今も心に残っています。

— 今後、大切にしていきたいことを教えてください。

この会は、定年後の男性が地域に貢献できる貴重な場です。運転ができなくても、配達の準備など、自分にできる形で関わるメンバーもおり、“おたがいさま”の温かさに支えられていると感じています。これからも、無理なく、細く長く地域に貢献していきたいと思っています。



原田三三子さん、伊藤繭子さん、佐藤香澄さん



まちのふくし人

このページでは、鶴岡市で「誰もがその人らしく暮らす地域づくりや活動を行っている人」を紹介します。

つるおか暮らしの保健室

地域と医療をつなぐ拠点として情報発信や場づくりを行っている【一般社団法人みどりまち文庫】会員の有志3名が集い、令和5年4月に「つるおか暮らしの保健室」を設立。毎月1回、三原皮膚科で開催している。

身近な健康おせっかい役としての活動

全国で広がりを見せている「暮らしの保健室」今回は、地域の暮らしにより近い、身近な健康おせっかい役として活動する「つるおか暮らしの保健室」のスタッフの皆さんにお話を伺いました。

「暮らしの保健室」って何ですか？

「暮らしの保健室」は、病院に行くほどではないけれど気になること、健康に関する心配ごとが話せる場所です。誰かと話したり、お茶を飲んで一息ついたりしたい時にも安心して来ていただける場です。平成23年に東京で訪問看護師の方が始めた取り組みで、今では、地域の中の相談の場として全国に広がっています。

立ち上げたきっかけは？

医療現場で働く中で「もっと早く相談ができていれば」と感じた経験から、病気になる前の小さな不安を気軽に話せるような場が地域の中に必要だと思ったことがきっかけです。同じ思いを持つ仲間と出会い、それぞれの専門性を持ち寄り、地域にひらかれた「つるおか暮らしの保健室」を立ち上げました。

「つるおか暮らしの保健室」はどのような場所ですか？

毎月第三水曜日の午後一時半から二時間ほど開催しており、どなたでも参加できます。初めて参加される

方や、お一人で参加される方でも安心して過ごせるよう、なじみやすい雰囲気を大切にしています。繰り返し訪れる方も多くいらっしゃいます。参加者の方々に「ここに来て、みんなと会って話をすると安心する」といった声をいただくこともあり、「安心できる場」「交流の場」になってきたと感じています。

また、「暮らしの保健室」では健康に関する様々な予防講座を行っています。参加したある方は、地域の集いの場で具合の悪そうな方に気づき、いち早く対処できたそうです。日常の中で学びが活かされたことに、「学びの場」としても役立つと感じました。

活動の最後には、参加者の皆さんで「ふるさと」を歌います。ある方が手話を付けて歌いましょう、と提案してくれたことがきっかけです。オカリナの伴奏をしてくださる方もいます。それぞれの得意なことが活かされ「日々の喜びや楽しみ」を一緒につくる時間にもなっています。

これからの目標を教えてください

地域の誰もが気軽に集い、心と体



などやかな雰囲気、初めての方でも自然に笑顔と会話が広がる場です

つるおか暮らしの保健室への参加申込み・問い合わせはこちらから



の健康を支え合える場を広げること、将来的には鶴岡市全域で健康的なつながりを持つコミュニティを築いていくことが私たちの目標です。



みんなでつくる みんなで支える

地域支え合いプラン 次のカタチへ

「地域支え合いプラン」とは

地域の特性を踏まえた住民主体の福祉活動を進めるために、鶴岡市地域福祉活動計画「おだがいさまのまちづくり計画」と連動しながら市内の学区・地区、または地域ごとに策定されている小地域の福祉活動計画です。

新たな地域支え合いプラン策定へ

鶴岡地域では、学区・地区社会福祉協議会等の地域福祉推進基礎組織が、藤島・羽黒・櫛引・朝日・温海地域では、各地域福祉委員会が地域支え合いプランの進行管理を行っています。令和8年度からの新たな計画策定に向け、令和3年度から令和7年度を計画期間とした地域支え合いプランの評価や見直しを行いました。これを踏まえ、地域・地区ごとの住民主体の見守り・支え合いの福祉活動を示した新たな地域支え合いプラン（計画期間：令和8年度～令和12年度）を策定しました。今後は、この新しいプランを地域福祉活動推進の指針として取り組んでいきます。

情報交換会を開催しました

令和8年2月27日に、学区・地区社協等の51人が参加して、情報交換



2月27日の情報交換会の様子

を行いました。令和7年度までの地域支え合いプランの進捗と評価、令和8年度からの新地域支え合いプランの取り組み内容について、それぞれの地域の状況をグループに分かれて意見交換しました。各グループでは活発な話し合いが行われ、参加者からは「他の地域の具体的な取り組みを知ることができてよかった」「自分の地域で取り組む活動の参考になった」など、それぞれの地域で新たな地域支え合いプランの取り組みにつながる機会となりました。

令和7年度 赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動

ご協力ありがとうございました ～運動結果並びに配分のご報告～

鶴岡市内の募金総額と内訳

戸別募金	15,071,276円
街頭募金	250,540円
学校募金	394,678円
法人募金	854,000円
職域募金	983,413円
イベント募金	72,492円
その他募金	448,606円
合計	18,075,005円

共同募金の使いみち

◆県共同募金会へ送金 14,685,005円

令和8年度に、福祉団体、NPO法人、福祉施設等が取り組む子育てや障がい者支援に、また、市社協が推進する支え合い活動やボランティア活動等の地域福祉活動に配分されます。

◆歳末たすけあい配分 3,390,000円

市内の経済的に支援を必要とする世帯（363世帯）、児童養護施設の入所児童・生徒に配分しました。



くらしのこと、仕事のこと ご相談ください

仕事・病気・お金などさまざまな暮らしの困りごとの相談窓口です。

相談支援員がご相談をお受けし、抱えている課題の改善に向けて一緒に考えます。

ひとりで抱え込まず、まずはお気軽にご相談下さい。

○日時 月曜日～金曜日 8:30～17:15
(年末年始祝日を除く)

○場所 鶴岡市役所1階（福祉課内）

○電話 29-1729
(フリーアクセス 0800-800-1729)

○FAX 25-9500

○E-mail tsk_ziritu@shk01.jp

情報掲示板

鶴岡福祉バス予約会のお知らせ (令和8年7月～令和9年3月分)

福祉バスの利用を希望される団体を対象に、予約会を開催します。予約会に参加される場合は、事前申込が必要です。

●事前申込受付期間

令和8年5月1日(金)から5月15日(金)まで
9:00～17:00 (土日・祝日を除く)

※ 受付順番によって優位になることはありません。

●対象期間 令和8年7月～令和9年3月

●利用対象 旧鶴岡市区域に住所を有する団体

●予約会日時 令和8年5月19日(火) 10:00～12:00

●予約会会場 鶴岡市社会福祉協議会 本部事務局 (鶴岡市山王町 13-26)

●申込み・問合せ

鶴岡市社会福祉協議会 総務課 福祉バス担当
TEL 26-7815 FAX 26-7837
(申請書は同所にあります)

※予約会後の5月20日(水)より、通常の申込方法で福祉バスの予約を受け付けます。

令和8年度 「ふれあい福祉相談」のご案内

●職員による相談

福祉全般にかかわる困りごとに職員が応じ、関係機関と連携しながら解決に向けて継続的に支援を行う相談窓口です。

日時：月～金（祝日を除く） 8:30～17:15

場所：各福祉センター（問い合わせ先／ページ下段に記載）

●巡回弁護士相談（上半期4月～9月）

4月15日(水) 10:00～15:00	鶴岡福祉センター 地域福祉課
5月20日(水) 10:00～15:00	羽黒福祉センター
6月17日(水) 10:00～15:00	鶴岡福祉センター 地域福祉課
7月 8日(水) 10:00～15:00	榊引福祉センター
7月22日(水) 10:00～15:00	鶴岡福祉センター 地域福祉課
8月19日(水) 10:00～15:00	朝日福祉センター
9月 9日(水) 10:00～15:00	藤島福祉センター
9月30日(水) 10:00～15:00	鶴岡福祉センター 地域福祉課

※相談料金は無料、相談時間はお一人30分です。

※相談は予約制となっております。

各日程の1か月前から予約を受け付けます。

ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます
(令和8年1月1日から令和8年2月28日までのご寄付を掲載しています)

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センターへ

・社交ダンスふらみんごチャリティダンスパーティー 様
10,000円

★デイサービスセンターくしびきへ

・伊藤 周一 様
20,000円

★特別養護老人ホームおおやまへ

・(株)ツルハホールディングス 様
クラシエ(株) 様
車椅子3台

★デイサービスセンターとようらへ

・仲宮会 様
ウエス18kg、毛布1枚

★鶴岡市中央児童館へ

・鶴岡東高等学校奉仕部 様 手作り防災カルター組

★フードバンクへ

・湯田川地区自主防災会 様 アルファ化米150食
・つるおか森の時間 様 食品13点

おたがいさま

第123号
令和8年4月1日発行
発行部数 47,300部



編集・発行

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会

本部事務局 鶴岡市山王町13番36号

TEL 0235-26-7815

FAX 0235-26-7837

ホームページ <https://www.shk01.jp/>

鶴岡福祉センター

地域福祉課 TEL 26-9222

生活支援課 TEL 24-0053

藤島福祉センター TEL 64-3100

羽黒福祉センター TEL 62-4534

榊引福祉センター TEL 57-5300

朝日福祉センター TEL 53-2795

温海福祉センター TEL 43-2114



広報誌「おたがいさま」は、赤い羽根共同募金配分金と社協会費を財源とし、偶数月に全戸配布でお届けしています。